

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動の取組事例

## 「学校支援地域本部事業の成果等」(岩手県宮古市)

### 取組の概要や経緯

平成20年度に山口小学校を含めた3小学校、1中学校で学校支援地域本部を組織し地域による学校支援活動に取り組み始め、以降実施校数の増減を経て、平成29年度も3小学校、1中学校の計4校において取り組んでいる。



### 内容

各本部に配置した地域コーディネーターが、地域や学校との連絡・調整を図りながら、様々な学校支援活動を企画し、多くの地域ボランティアの協力のもと実施している。平成29年度に行われた主な活動は下記のとおりである。

- ・山口小学校: 体力テスト計測や家庭科等の授業補助、読み聞かせ、運動会における神楽衣装の着付け、草取りや学校林整備等の環境整備、放課後の体験学習「ふれあい教室」の開催、登下校安全指導
- ・津軽石小学校: 読み聞かせ、登下校安全指導、さんさ踊り伝承活動、環境整備、授業補助(むかしあそび体験、新巻鮭作り、家庭科ミシン補助等)、相撲指導
- ・宮古西中学校: 読み聞かせ、歌舞劇着付け・髪結い、花壇の整備、登下校安全指導、職場体験の受け入れ先選定

### ポイント

- ・山口小学校においては、定期的に支援活動に関する広報誌を発行し、地域の各施設や掲示板に掲示し活動の周知及びボランティアの募集等を行っている。
- ・各コーディネーターは、自ら事業に関する制度の動向や先進事例などの情報収集も行っており、既存の活動の継続だけでなく新たな活動にも取り組んでいる。

### 成果

- ・山口小学校においては、ボランティアと子どもの学習活動が直接結びつく活動が増え、活動の幅が広がった。
- ・津軽石小学校においては、地域住民やPTA、学校関係者で組織する地域教育協議会で提案のあった「子ども達から地域へ働きかける」という視点を、4年生による老人ホーム訪問という形で実現するなど、学校から地域への活動が充実してきている。
- ・宮古西中学校においては、本部設立当時からの念願であった学区内の小学校と連携した活動に向け協議が進んでおり、今後更なる活動の充実が見込まれる。

### 今後の方向性

- ・平成28年度に行ったアンケートでは、学校関係者に比べ地域住民や保護者の事業の成果に関する肯定的な回答割合が低かったことから、学校から地域への活動の周知や連携を進めて行く。
- ・従前より行っている地域による学校支援活動だけでなく、学校から地域へ貢献する活動も増えてきており、一層の充実を図る。